

じんけんについて学ぶ



じんけんとは・・・

人権とは人が生まれながらに捨て持っている人間が人間らしく生きる権利です。一人一人が大切にされ幸せになるための権利、安心して自分らしく生きることができる権利です。それは、自分でも守らなければならないし、誰一人として他の人の人権を傷つけてはいけないということ、誰一人として他人から人権を傷つけられてはいけないということ子どもたちに伝えていきたいと思ひます。

ご家庭でも、是非子どもたちと一緒に話をさせていただけたらと思ひます。

吹田市のじんけん
作品展での入賞作
品を紹介しします。



6年

ちようかくしようがい者にしてほしい事

三年

みなさんは、ちようかくしようがい者と言ひ言葉を知っていますか？
ちようかくしようがい者と言ひのは、耳が聞こえにくい人の事を言ひます。

私が、耳が聞こえなくなったのは、まだ、お母さんのおなかの中にいる時です。私がそれを知ったのは、二年生の時です。なんで、二年生の時に知ったかと言ひ、「これまでのわたし、これからのわたし」と言ひ作品を書いた時に、私がおなかの中の時の事を聞いて、はじめてその時に知りました。つぎに、ちようかくしようがい者に会ってお話をする時は、手話や指文字をぜひ使ひてみてください。もし、手話やゆびもじを知らない人は、口を大きくあけてしゃべってください。それでも、つたわってなさそうだったら、口を大きくあけてしゃべっている時にジャスチャーをつけて、やってみてください。

そして、ちようかくしようがい者が耳につけてある人工内耳じんこうないじとほちようきについて話します。人工内耳は、じしゃくでくつく部分があります。ほちようきは、スイッチを切ったり、つけたりする部分があります。もし、自分の身の周りで、ちようかくしようがい者の人が困っていたら、ぜひ、手話やゆびもじを使ひてみてくださいね。



6年

いろいろな人

六年

考えてみよう
目が見えない人のこと
相手のペースに
合わせてみよう

考えてみよう

耳が不自由な人のこと

大きく 大きく 口をあけ

しゃべってみよう

理解しよう

考えてみよう

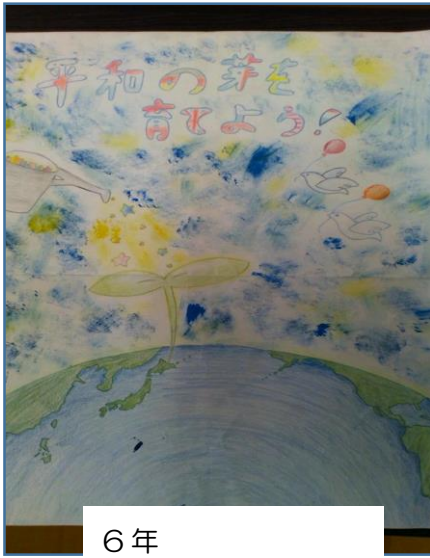
けがをしている人のこと

私たちに

できることはないかな

考えてみよう

いろいろな人のこと



6年

「わたしは」

二年

ほちようきをはずすと
わたしは きこえない
けど
みんなが
手話やジェスチャーをしてくれるから
わたしは うれしい

あいさつと

三年

ルールでつくる
あさのみち

世界に一つだけの命

六年

約七十億人の人間が生きているこの世界に、毎日人間が生まれて亡くなっている。その人間達は、一人ひとり違う命を持ち、個性を生かして生きてきている。人間はそれぞれ世界に一つしかない命を持ち、生きている。

だから、その人が亡くなったら、もう二度とその人の命がなくなってしまう。だから、人間の命を奪うことは絶対に行ってはいけない。

そのひとつは、「戦争」だ。

自分たちの利益ばかりを考えて起きてしまう一番してはいけないものだ。関係のない人たちの世界に一つだけしかない命を奪い、生きるという喜びを消している。だから、もう二度と戦争は起こしてはいけないと思う。

また、イジメも小さな戦争だ。

心の中では、相手が傷ついていないと思っていても、心の中で深い傷を負い、その人の一生を傷つけてしまうことになる。それが引きこもりや自殺につながり、とりかえしのつかないことになるかもしれない。だから、暴力だけじゃなくて、口で悪口を言うのも絶対にしてはいけないことだ。

「人には人の命をうばう権利はない」から、悪心よりも良心を心掛けていったらいいと思う。

その一つが「思いやり」だ。思いやりというのは、その人の身になって考えろという意味がある。

命があるということ、思いやりを絶対持っているということだから、思いやりを大切にしていこう。ずっと、いつまでも一つの命を大切にしていこう。



いじめを許さない学校づくりに向けて

いじめは、人間として絶対に許されない大きな人権侵害事象です。いじめはなかなか見えにくいものです。私たち教職員は、「いじめはどの子にもどの学校においても起こりうるもの」と考えて取り組まなければならないと考えています。大切なことは、相手のつらい心に共感できる心・人の痛みのわかる子どもに育てることだと思います。そのためには、互いの良さを認め合える集団、自他の生命を尊重する心を育てていかなければならないと考え、集団づくりや道徳・特別活動の授業をしています。

本校でも、人の心を傷つける言葉や行動は生起しています。その都度指導していますが、なかなか一朝一夕に解決できるものではありません。自分自身の心に余裕がなければ、相手のつらさに共感することはむずかしいです。心を育てていく取組は、学校だけではできません。また、短期間でできるものでもありません。家庭・地域の皆さんと大切なことを共有しながら、一緒に進めていきたいと思っています。豊かな心を育てるために、お力を貸してください。どうぞよろしくお願いいたします。

本校では、いじめの早期発見・早期解決のために、教職員がアンテナを高くして子どもたちを見守ることと、学期に1回学校生活アンケートを実施し、その中で気になる回答があれば個別に聞き取り対応しています。そして、そこから見えてきた課題については教職員で共通認識をしながら取組を進めています。

しかしながら、いじめはなかなか見えにくいものですので、お子さんの様子が少し気になる・・・というようなことがありましたら、いつでも遠慮なくご相談ください。一人ひとりの子どもの大切な人権を守っていききたいと思います。